

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題		
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合					
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 本校の教育活動に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	A	A	A	本校の教育活動に満足していると回答した生徒が93%、保護者が88%である。 学校生活が充実していると回答した生徒が90%、保護者が87%である。 各教科の授業や「総合的な探究の時間」の探究的活動に意欲的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	学校作りに対する教職員、生徒、保護者の感覚が一致していることが見受けられる。生徒は学校から与えられた内容にしっかり取り組み、生徒の90%が「学校生活が充実している」と回答していることが良い。	本校が策定したグランドデザインに基づいて、生徒、保護者、教職員が今後も「目指す生徒像」「目指す学校像」の実現に向けて、一体となって取り組む。 探究的活動の充実に一層取り組みつつ、保護者にも活動の状況が伝わるように工夫する。		
		② 学校生活が充実していると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A					
		③ 各教科の授業や「総合的な探究の時間」の探究的活動に意欲的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	A					
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 授業毎のねらいを掴み、主体的・協働的な学びから、学習理解が深まったと考える生徒が80%以上である。	A	A	A	主体的・協働的な授業で、学習理解が深まったと考える生徒が92%、保護者が75%である。 授業に満足していると回答した生徒が89%、保護者が74%である。	学習活動について生徒の満足度は高いが、教職員は生徒の学習状況の改善の必要性を自覚している。家庭学習時間の生徒の平均は2時間以上になっているが、2極化傾向が見られると思われる。家庭学習が少ない生徒への手立てが必要だと考える。	新学習指導要領による観点別学習評価に取り組みながら、主体的・協働的で深い学びの実現に向けて、学校全体で授業改善を推進する。		
		⑤ 授業に満足している生徒が80%以上である。	A	A	A					
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥ サタデープランや各種補習に積極的に取り組んでいる生徒が85%以上である。	B	C	B	サタデープランや各種補習に取り組んでいると回答した生徒が90%、保護者が91%である。 各教科の課題に積極的に取り組んでいると回答した生徒が88%、保護者が87%である。 1日平均の家庭学習時間(5・7・8・11月調査平均)は138分(1年123分, 2年121分, 3年171分)である。	生徒が家庭学習や授業以外での学習にも意欲的に取り組めるよう、興味・関心を引き出す学習指導を各教科で研究し進める。また、学習にうまく取り組めない生徒の指導方法を進路指導部・各学年が検討して工夫、実施する。			
		⑦ 知識・技能の習得のため、各教科の課題に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	B	B	B					
		⑧ 生徒の1日平均の家庭学習時間が2時間以上である。	C	C	B					
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 服装・頭髪規定やスマートフォン・SNSの利用ルール等を守ろうと心がけている生徒が80%以上である。	A	A	A	服装・頭髪規定やスマートフォン・SNSの利用ルール等を守っていると回答した生徒が88%、保護者が87%である。 交通ルール・マナーを守っていると回答した生徒が85%、保護者が89%である。 部活動が充実していると回答した生徒が85%、保護者が78%である。	皆勤者が45%、一日のクラスでの平均遅刻者が0.17人という結果はとても良いと思う。「人権教育の充実」と「いじめ防止」については分けて評価する方が、保護者、生徒はわかりやすく回答しやすいと思われる。交通ルール・マナーの遵守に関する指導は、継続が重要である。自転車通学が多いのでヘルメット着用率やその指導についても知りたいと思う。	現在行っている生徒を取り巻く生活指導や教育相談体制、保健指導を各分掌・学年で充実、徹底することに努めるとともに、学校生活が充実するように部活動の指導を推進する。		
		⑩ 交通ルール・マナーを守ろうと心掛けている生徒が80%以上である。	B	C	B					
		⑪ 部活動が充実していると感じている生徒が80%以上である。	C	B	B					
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑫ いじめ防止など人権教育が充実していると思っている生徒が80%以上である。	A	A	B	いじめ防止などの人権教育が行われていると回答した生徒が79%、保護者が64%である。	生徒の人権意識を育成するように全校で取り組むとともに、いじめの予防、防止に向けて、個々の生徒の支援に組織的に対応する。			
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬ 1年間皆勤の生徒が25%以上である。	A	A			B	2学期末までの皆勤者は45%である。 12月末までの1日平均遅刻者はクラスで0.17%である。	自己管理能力の大切さをHR等の様々な機会に指導して、生徒が健康、安全で規則正しい生活が送れるようにする。
			⑭ 1日平均遅刻者数はクラスで2.5%以下である。	A	A			A		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑮ 「総合的な探究の時間」やLHR等の進路学習の計画が充実していると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	総合的な学習の時間やLHR等の進路学習が充実していると回答した生徒が92%、保護者が75%である。 自分の適性や進路希望を考えた文理選択や科目選択をしていると回答した生徒が90%、保護者85%である。	学校からの「進路学習」等の指導の情報を保護者にうまく伝える方策を検討すると良い。自粛生活により生まれた自己と向き合うための時間的余裕が進路や将来についての意思決定に繋がっている。人生の選択を急がせすぎないよう、情報を与えず適切な方法を考えてほしい。	進路選択や進路学習を3年間の長期的な計画に基づいて行い、生徒、家庭に適切な情報と時間を提供しながら、自己実現が達成できるよう進路指導を推進する。また、「総合的な探究の時間」については計画に基づいて充実を工夫する。		
		⑯ 1年生3学期の段階で、自己の適性を考えて文理選択をできた生徒が80%以上である。2年生3学期の段階で、進路希望を考えた科目選択をできた生徒が80%以上である。	A	A	A					
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰ 「自己のあり方」と「将来の職業」との関連を考えさせる活動を実施し、進路実現に向けて主体的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	A	自己のあり方や将来の職業について考えながら、進路実現に取り組んでいると回答した生徒が87%、保護者が76%である。	研究室訪問やボランティア活動、インターシップなど生徒に多様な活動を提供して、自らの進路を考え実現に真剣に取り組む環境作りを推進する。			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑱ 定期的に学年通信を発行し、80%以上の保護者に学年通信に目を通してもらう。	A	A	A	学年通信で適切な情報が発信されていると回答した生徒が91%、保護者が80%である。 一斉メールやWebページの情報提供に満足していると回答した生徒が81%、保護者が87%である。	Webページやメール、新聞等で適切に情報発信が行われている。コロナ禍で情報発信に対するの受け止め方の意識が変わってきていることにも留意が必要である。	学校からの情報発信を一層充実させるとともに、学校評価、PTA活動等で保護者からのフィードバックが得るよう工夫する。		
		⑲ 一斉メールやWebページの情報提供に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	A	A	A					
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑳ 学習用端末やICT機器(プロジェクト等)を、授業や家庭学習で利用していると答えた生徒が80%以上である。	A	A	A	学習用端末やICT機器(プロジェクト等)を、授業や家庭学習で利用していると回答した生徒が89%、保護者が81%である。	ICT機器を活用した授業やオンライン授業が滞りなく行われている。さらに学習が深まるような工夫を期待したい。	学習指導や授業改善の取組の中で、デジタルの活用方法を工夫して、学習効果が上がるようにする		

